



3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

ブックスタート推進事業 70万円

(担当：栗原市立図書館)

3～4か月児健診の際に、絵本を開く楽しい体験とメッセージを伝えて絵本を贈り、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心ふれ合うひとときを持つ、きっかけを作りました。

健診での絵本の読み聞かせの様子



児童虐待防止対策事業

375万円

(担当：子育て支援課 子ども・家庭福祉係)

児童虐待をなくすため、地域協議会の開催や関係機関との連携、相談などを行いました。

また、児童虐待に関する専門的な研修を実施し、要保護家庭の支援スタッフの資質向上を図りました。

地域子育て支援センター運営事業

1,422万円

(担当：子育て支援課 保育サービス係)

地域全体で子育てしやすい環境を推進するため、市内9地区にセンターを開設し、育児不安を抱える母親の相談や子育てサークルなどの育成支援を行いました。



活動を通じて育児相談や情報提供などを行っています

放課後児童クラブ等運営事業

8,741万円

(担当：社会教育課 生涯学習係)

共働き家庭などの概ね10歳未満の預かり児童の健全育成を図るため、放課後に小学校の空き教室などを利用し、適切な遊びや生活の場として開設しました。

開設数：17か所(市内全地区)

入所児童数：539人(平成24年4月1日時点)



遊びや宿題などをしてみんなと楽しく過ごします

すこやか子育て支援金支給事業

2,106万円



(担当：子育て支援課 子ども・家庭福祉係)

子育てを応援するため出生祝金、入学祝金を支給しました。

■出生祝金	第1・2子	2万円
	第3子	5万円
	第4子	10万円
	第5子以降	20万円
■入学祝金	第3子以降	10万円

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

子ども医療費助成事業 7,628万円

(担当:子育て支援課 子ども・家庭福祉係)

子育て家庭における経済的軽減を図ることを目的に、小学生・中学生の入院通院に係る医療費を助成しました。

助成延べ件数

小学生:31,290件 中学生:7,323件

特定不妊治療費助成事業 145万円

(担当:子育て支援課 子ども・家庭福祉係)

高額な治療費がかかる体外受精などの特定不妊治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費を助成しました。

母子保健健康診査事業

5,794万円

(担当:健康推進課 保健指導係)

妊婦と乳幼児の疾病、異常の早期発見・早期治療の促進と健康管理の向上を図るため、各種健康診査を行いました。

- 妊婦一般健康診査助成(14回)
- 1歳6か月児～3歳児までに健康診査とフッ素塗布(4回)の実施
- 乳幼児健診:2か月児～3歳児の疾病の有無、成長発達の確認、育児の相談 など

一時保育事業

1,116万円

(担当:子育て支援課 保育サービス係)

保護者のパート就労や病気、冠婚葬祭、育児による心理的・肉体的負担の解消を図るため、市内10か所の保育所で一時的(緊急的)にお子さんを預かる事業を実施しました。



一時保育の様子



1歳6か月児健診の様子

妊婦歯科健康診査事業

81万円

(担当:健康推進課 保健指導係)

妊婦と生まれてくる子の歯の健康づくりのため、妊婦歯科健康診査を行いました。また、妊娠期におけるむし歯や歯周病の予防、早期発見・早期治療を促し、妊婦の健康増進と早期からの乳幼児のむし歯予防に対する意識づけを図りました。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

■=新規事業、■=拡充事業 (事業名の頭に標記)

消費生活相談事業 654万円

(担当：産業戦略課 商工振興係)

専門知識と経験のある消費生活相談員を配置し、市民からの契約や電話勧誘販売などの消費生活相談に対応しました。

平成24年度相談件数：110件

[相談窓口]

月曜日～金曜日 9時～16時まで

(祝日・年末年始除く)

専用電話 0228-22-1501

[相談場所]

築館農村環境改善センター 1階事務室

(市役所本庁舎隣、築館ふるさとセンター)

いのちを守る緊急総合対策事業

1億254万円

(担当：社会福祉課 社会福祉係
・健康推進課 保健指導係)

自殺防止対策として、キャンペーンや講演会、多重債務に関する電話相談、栗原市のぞみローンによる資金融資などを継続して実施したほか、小中学生など対象に、金融教育の啓発事業を新たに実施しました。

自殺者数は、徐々に減少しているものの、依然として宮城県内でも多い状況です。



自殺防止キャンペーンの様子

健康診査事業 1億6,874万円

(担当：健康推進課 健康推進係)

市民の健康保持や病気の早期発見のため、各種健康診査・がん検診などを行い、健康管理を支援しました。

また、対象年齢の方へのがん検診無料クーポン券の配布や、平成24年度から新たに肺がんの早期発見・早期治療のための肺がんCT検診を実施しました。



肺がんCT検診の様子

予防接種事業 1億7,932万円

(担当：健康推進課 健康推進係)

感染のおそれがある疾病の発生や蔓延を予防するため、各種予防接種を行いました。

また、高齢者のインフルエンザ予防接種の個人負担の軽減を行いました。

BCG、ポリオ、三種混合（ジフテリア、百日せき、破傷風）、麻しん及び風しん混合、日本脳炎、高齢者インフルエンザ、水痘ワクチン、流行性耳下腺炎ワクチン、子宮頸がんワクチンの予防接種など

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

地域活動支援センター運営事業

2,734万円

(担当：社会福祉課 障害福祉係)

在宅の障害者の社会復帰対策として、通所による創作活動や生産活動の機会の提供や社会との交流の促進を図りました。

地域活動センターでの勉強会の様子



訪問入浴サービス事業

550万円

自宅での入浴が困難な身体障害者に対し、訪問入浴サービスを行いました。

日中一時支援事業

449万円

障害者に日中活動の場を提供し、家族の就労支援や介護の負担を軽減するための支援を行いました。

日常生活用具給付等事業

1,759万円

重度障害者などに対し、日常生活の便宜を図るため、特殊寝台や紙おむつなど日常生活用具の給付を行いました。

移動支援事業

818万円

屋外での移動が困難な障害者に、外出する際の支援を行いました。

相談支援事業

1,961万円

障害者などからの相談に応じ、必要な情報を提供しました。

(担当：社会福祉課 障害福祉係)

自動車運転免許取得費・改造費助成事業

175万円



(担当：社会福祉課 障害福祉係)

障害者の自動車運転免許の取得費用や自動車の改造費用に対して助成しました。

また、自動車運転免許取得費助成については、精神保健福祉手帳の交付を受けている方を交付対象者に加え、補助金の限度額を20万円とし、自動車改造費助成においても補助金の限度額を18万円としました。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

生きがい活動支援通所事業 2,572万円

交流の輪を広めながら、通所による軽体操や創作活動（ミニデイサービス）を行い、高齢者の社会参加を促しました。

「食」の自立支援事業 979万円

高齢者のみの世帯に対し、宅配による給食サービスを行いました。

軽度生活援助事業 757万円

高齢者のみの世帯に対し、ホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活上の援助を行いました。

高齢者福祉タクシー利用助成事業 612万円

通院が困難な低所得の高齢者に対し、通院のためのタクシー利用料金を助成しました。

高齢者日常生活支援業務利用助成事業 157万円

高齢者のみの世帯に対し、庭の清掃や除雪作業などの日常生活にかかる経費を助成しました。
(シルバー人材センターが行う日常生活支援業務に限ります。)

緊急通報体制等整備事業 416万円

自宅でのひとり暮らし高齢者などに対し、家庭用緊急通報システムの貸し付けを行いました。

(担当：社会福祉課 社会福祉係)



救急安心キット事業 155万円

(担当：社会福祉課 社会福祉係)

ひとり暮らし高齢者などに対し、主治医や病歴を記載した用紙を保管するキットを配布し、万一の救急の際に救急隊員が迅速な対応をとれるようにしました。

栗原市あんしんキット